

12月の新着本

2023年

12月9日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

ほろよい読書 おかわり 【読者希望】	青山美智子 他	夜はお疲れ様な自分を癒す、とっておきの一杯を。麗しい女性バーテンダーと下戸の青年の思いを繋ぐカクテル、本音を隠した男女のオイスターバーでの飲み食い対決、父の死後に継母と飲み交わす香り高いジン、少女の高潔な恋と極上のテキーラ、不思議な赤提灯の店で味わう日本酒……。大注目の5名の作家が「お酒」をテーマに描いた、心満たされる短編小説集第2弾！
愛しいひとにさよならを言う	石井睦美	生まれたときから父親はいない。絵画修復家の母と、近所に住む母の年上の友人・ユキさんに育てられた。幼い日のわたしは、わたしたち三人が家族だと知っていた。家族という言葉は知らなかったのに。わたしは愛に飢えることもなく、三人のしあわせな日々がいつまでも続くと信じて疑わなかった。あの日がくるまでは。
伊藤比呂美の歎異抄 【読者希望】	伊藤比呂美	古典新訳に定評のある詩人・伊藤比呂美。その感性と文体のすべてを挙げて、歎異抄、正信念仏偈、和讃、書簡を生きた現代の口語体に訳し、カリフォルニア、熊本、東京と行き来する自身を綴った「旅」とともに味わう。
学校や塾へ行かずに、いかにして4人の子どもたちは独学力を身につけたのか？ 【読者希望】	内藤浩哉	「経済」「地域」「親の学歴」格差は乗り越えられる！ 4人の子どもたちを17年間完全「無登校・無塾・無先生」で育てた父親が、並のエリートでは到達しえない教養・学ぶ姿勢・生きる力のつけ方を公開する。
歌われなかった海賊へ	逢坂冬馬	1944年、ナチ体制下のドイツ。父を処刑されて居場所をなくした少年ヴェルナーは、体制に抵抗しヒトラー・ユーゲントに戦いを挑むエーデルヴァイス海賊団の少年少女に出会う。やがて市内に敷設された線路の先で、「究極の悪」を目撃した彼らのとった行動とは？—本屋大賞受賞後第一作。
コメンテーター 【読者希望】	奥田英朗	直木賞受賞、累計290万部の人気シリーズ17年ぶりに復活！低視聴率にあえぐワイドショーのスタッフの圭介は、母校のついで美人精神科医をコメンテーターとしてスカウトしようとする。が、行き違いから伊良部とマユミが出演することに。案の定、ふたりは放送事故寸前のコメントを連発するが、それは暴言か、はたまた金言か！？
農ガール、農ライフ	垣谷美雨	耕せば、人生は開ける！……って本当ですか？仕事も彼氏も家も失い、農業に目覚めたアラサー女子。おんな一人、自給自足のハッピーライフは手に入るのか？すべての迷える女性に贈る、リアル・サバイバル小説！
三年長屋	梶よう子	河童が奉られた長屋の差配と店子たちが織りなす、心温まる物語。下谷、山伏町にある裏店、通称『三年長屋』。この長屋に住むものは、なぜか三年ほどで出世していくため『出世長屋』とも呼ばれていた—。河童の神様が奉られた長屋で起きる奇蹟の感動物語。
世界でいちばん透きとおった物語	杉井光	奇妙な成り行きから、僕は一度も会ったことがない父の遺稿を探すことになる。知り合いの編集者・霧子さんの力も借りて、業界関係者や父の愛人たちと会ううちに、僕は父の複雑な人物像を知っていく。やがて父の遺稿を狙う別の何者かの妨害も始まり、ついに僕は『世界でいちばん透きとおった物語』に隠された衝撃の真実にたどり着く—。予測不能のラストに、あなたの見る世界は『透きとおる』。
#Z世代的価値観	竹田ダニエル	「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2023」受賞！ メディア・SNSで話題騒然！『世界と私のA to Z』の著者による画期的エッセイ。
マリエ	千早茜	「離婚って失敗なの？」「恋愛と結婚って別物？」 新直木賞作家が描く、おとなの女性の結婚と幸福をめぐる物語。
くもをさがす 【読者希望】	西加奈子	カナダで、がんになった。「私は弱い。徹底的に弱い」。でも—あなたに、これを読んでほしいと思った。祈りと決意に満ちた西加奈子初のノンフィクション。2021年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から寛解までの約8か月間を克明に描いた。これは、たったひとりの「あなた」への物語—
図書館のお夜食	原田ひ香	東北の書店での仕事がうまく行かず辞めようかと思っていた樋口乙葉は、SNSで知った東京郊外にある「夜の図書館」で働くことに。そこは亡くなった作家の蔵書が集められた、いわば本の博物館のような図書館だった。すべてをさらけださなくてもいい。ちょうどよい距離感で、美味しいご飯を食べながら、語り合いたい夜がある—「三千円の使いかた」「ランチ酒」の原田ひ香が描く、本×ご飯×仕事を味わう、心に染みる長編小説。

リスペクト	ブレイディみかこ	ロンドンオリンピックの2年後—— 2014年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした炸裂作！ 「やれるか、やるべきか、じゃない。やるしかないときがある。」
ツユクサナツコの一生	益田ミリ	マスク生活2度目の春を過ごす、32歳・漫画家のナツコ。社会の不平等にモヤモヤし、誰かの何気ない一言で考えをめぐらせ、ナツコは「いま」を漫画に描く。描くことで、世界と、誰かと、自分と向き合えるから。“わかり合える、って、どうしてこんなに嬉しいんだろう——。自分の「好き」を大切に生きる、「あなた」に贈る物語。
オール・ノット	{読者希望} 柚木麻子	友達もいない、恋人もいない、将来の希望なんてもっとない。貧困にあえぐ苦学生の真央が出会ったのは、かつて栄華を誇った山戸家の生き残り・四葉。「ちゃんとした人にはたった一回の失敗も許されないなんて、そんなのおかしい」彼女に託された一つの宝石箱が、真央の人生を変えていく。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、2月新着本は、2月10日から貸出いたします。